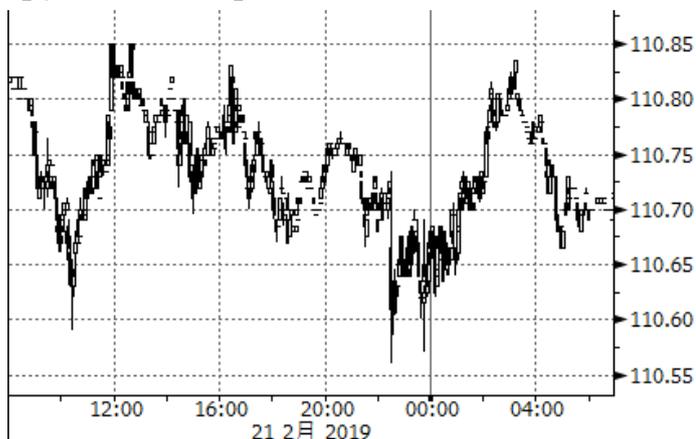


2019年2月22日(金曜日)

## 前日のトピックス

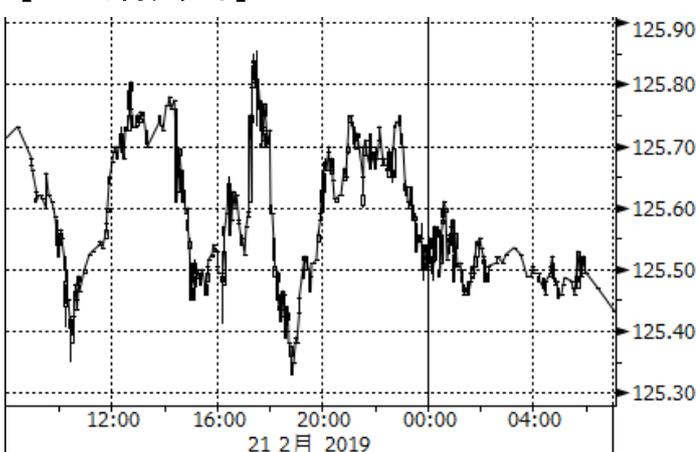
### 【米ドル/円チャート】

(出所: Bloomberg)



### 【ユーロ/円チャート】

(出所: Bloomberg)



### 【推移レンジ】

(データ出所: Bloomberg)

	オープン (NY時間17時)	安値	高値	クローズ (NY時間17時)
ドル/円	110.85	110.56	110.85	110.70
ユーロ/ドル	1.1339	1.1300	1.1367	1.1333
ユーロ/円	125.68	125.33	125.85	125.47

(\*)オープン値、クローズ値は、NY時間17時(東京時間7時(夏時間では同6時))時点の気配値

### 【相場回顧】

#### ドル円は依然として方向感定まらず、総じて小動きにとどまる

#### 東京時間:

一日経平均がオープンから軟調推移となる中、ドル円は仲値付近にかけて110円半ばまで下落。然し乍ら「米中は主要な構造問題で6項目の覚書を作成中」との報道を受けて、日経平均が前日比プラス圏まで上昇するとドル円は下げ幅を縮小する格好。

#### 欧州時間:

一欧州圏の経済指標がまちまちの結果(下記参照)となる中、ユーロは方向感なく1.13台前半で推移。BREXIT関連では「EU離脱、来週に合意確保できる公算小さい」と、昨日の報道と異なる内容が伝わりポンドは1.30台前半まで下落。

#### NY時間:

一軟調な米経済指標の発表(下記参照)を受けて、ドル円は110円半ばで上値の重い展開。その後、特段材料のない中、ドル円は110円80銭付近まで反発するも長くは続かず。結局、ドル円は小幅レンジで推移する格好。

## 主要相場動向

### 【株式市場】

		終値	前日終値	前日比
日	日経平均	21,464.23	21,431.49	+ 32.74
米	NYダウ	25,850.63	25,954.44	▲ 103.81
	NASDAQ	7,459.71	7,489.07	▲ 29.36
独	DAX	11,423.28	11,401.97	+ 21.31
英	FTSE100	7,167.39	7,228.62	▲ 61.23
中	上海総合指数	2,751.80	2,761.22	▲ 9.42

### 【国債利回り】

		引け(%)	前日引け(%)	前日比
日	10年国債	▲ 0.040	▲ 0.040	± 0.000
米	10年国債	2.693	2.645	+ 0.048
	2年国債	2.529	2.498	+ 0.031
独	10年国債	0.127	0.100	+ 0.027
英	10年国債	1.202	1.181	+ 0.021

### 【通貨オプション】

	1M ATM		1M R/R	
	引け(%)	前日引け(%)	引け(%)	OVER
ドル/円	5.73	6.03	0.91	JPY CALL
ユーロ/円	6.62	6.65	1.12	EUR PUT

### 【インデックス等】

	当日値	前日値	前日比
ドルインデックス	96.63	96.45	+ 0.18
人民元基準値	6.7220	6.7558	▲ 0.03
米ドル3mth ICE LIBOR (%)	2.65100	2.66338	▲ 0.01238

### 【商品市場】

	終値	前日終値	前日比
金(COMEX)	1,327.80	1,347.90	▲ 20.10
原油(WTI)	56.96	57.16	▲ 0.20

(データ出所: Bloomberg)

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。



三井住友銀行

2019年2月22日(金曜日)

## 行事・経済指標・発言等

### 【経済指標】

(データ出所: Bloomberg)

日付	国	内容	対象期間	結果	予想	前回	改定値
2/21	ユーロ	製造業PMI(速報)	2月	49.2	50.3	50.5	
		サービス業PMI(速報)	2月	52.3	51.3	51.2	
	米	フィラデルフィア連銀景況	2月	▲4.1	14.0	17.0	
		景気先行指数	1月	▲0.1%	0.1%	▲0.1%	
		中古住宅販売件数	1月	▲1.2%	0.2%	▲6.4%	
2/22	独	Ifo企業景況感指数	2月		98.9	99.1	
		HICP確報値(前月比)	1月		▲1.1%	0.0%	

### 【コメント・発言等】

日付	国	発言者、イベント名	発言内容
2/21	英 ユーロ 米 加	ハモンド外務相 ECB議事録 ブラード セントルイス連銀総裁 ポロズBOC総裁	直ちに合意至る公算小さいが妥協案歩み寄り TLTROを速やかに分析、早急な決定は下さない方針 基本シナリオではないが、利下げはあり得る 金利はいずれ中立まで引き上げる必要 中立への道筋は非常に不透明

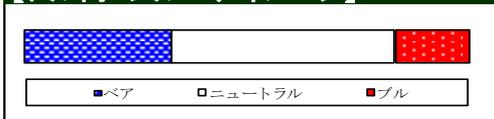
## 本日の相場予想

米中通商協議は①リスクオン→株高→ドル円上昇 ②人民元切り下げ回避→人民元買い→ドル円下落 の動きでもみあう展開

米中通商協議にてTKY時間に「主要な構造問題で6項目の覚書を作成」と報じられると、人民元はテクニカルな水準の6.70割れまで大幅下落する一方、ドル円は小幅な動き。米中デールの動向に影響を受けやすいオーストラリアだが、RBA(オーストラリア準備銀行)は昨日「年内2回の利下げを予想」と発表。茲許のオイル上昇基調や米中交渉の進展等ポジティブな内容も伝わる中、金融政策のスタンス変更によりAUD売り圧力が強くなるのか個人的に注目していきたい。(担当: 足立 大樹)

## ディーラーの予想分布

### 【ドル円・ブルベアイメージ】



### 【ユーロ円・ブルベアイメージ】



弊行ディーラー(15名程度)による本日の相場予想(※1)の分布(※2)です。

(※1)本レポート作成時点での、本日ニューヨーククローズにおけるレート水準の予想

(※2)ブル:50銭超の上昇(円安)、ベア:50銭超の下落(円高)、ニュートラル:上下50銭以内

- 本資料は純粋に情報提供を目的とし、弊行が信頼に足り、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊行はその情報の正確性や完全性を保証するものではありません。記載された意見や予測等は、作成当時の筆者の一見解を示すのみであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、いかなる取引の勧誘や推奨を行うものではありません。
- 記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。本資料の一部又は全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。本件に関するお問い合わせは、お取引の三井住友銀行の窓口までお願い致します。



三井住友銀行